

「障がいのある子供たちへの理解を！」

～大津支援学校オープンスクール～

1 オープンスクールって～特別支援教育と障がいのある児童生徒たちの理解を～

- 一人一人に応じた教育ニーズを求めて、知的障がいの特別支援学校に入学を希望する児童生徒が増えています。本校でも、開校時(昭和56年)の在籍児童生徒数94人が、平成29年度現在は164人と1.7倍に増加しています。
- 入学を前に、特別支援学校における教育をしっかりと理解してもらうことが必要と考えます。また、本校を巣立つ生徒の進路先となる労働や福祉等の方々にも児童生徒の理解を一層深めてもらいたいと考えています。

そこで、6月1日(木)、2日(金)にオープンスクールを実施したところ約230人の方に来校いただきました。

2 概要と参加者の声



<全体説明会の様子>



<小学部5年生の授業参観>



<高等部園芸班の授業参観と販売の様子>

当日は、本校の教育内容の説明の他、授業参観を行いました。

<感想>

- ・全体説明会では、写真を使って小学部・中学部・高等部の説明があり、わかりやすかった。
- ・巡回相談等の説明があり、今後活用したいと思った。
- ・子供たちが一生懸命に生き生きと取り組んでいるのが印象に残った。
- ・子供たちの挨拶がよくできていた。

3 十分な教育相談や見学を

- 特別支援教育は、インクルーシブ教育の推進に伴い、児童生徒の様子に応じて、特別支援学校から通常の学校まで、多様な学びの場が考えられます。
- 小・中学校等における就学相談に当たっては、お近くの特別支援学校においてもオープンスクールや教育相談を実施していますので、どうぞご利用ください。